



一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会 通信Vol.8

益田グローバルヘッドクォーター（Global Headquarters）

〒698-0024 島根県益田市駅前町17番1号 EAGA 産業支援センター内 2020/11/16

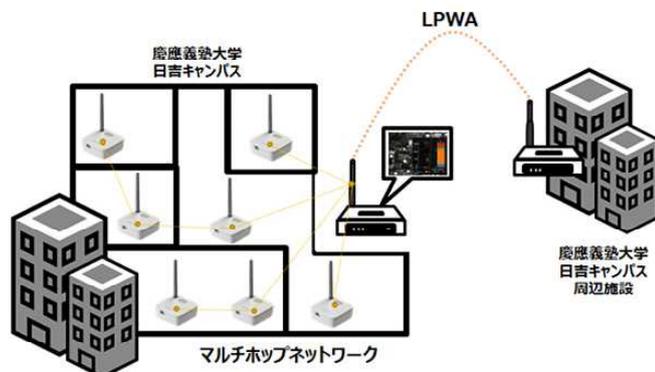
一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会(MCSCC)では、全国各地に「キャンパス」(分室)を展開するとともに、その基盤には学術的なアプローチを置くこととし、積極的に学術機関(アカデミア)との関係を構築しています。今回は学術機関との関係について主なものを紹介します。

慶應義塾大学

MCSCC豊崎禎久代表理事はかつて慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特別招聘教授を勤め、MCSCCは慶應義塾大学と深いご縁があります。

慶應義塾大学との間では、豊崎代表理事がフアウンダーであるアーキテクトランドデザイン株式会社(AGD)が通信、オムロン株式会社が環境センサー、慶應義塾大学が自律分散ネットワークを活用したセンシングデータを用いて、モニタリングに適したサービスアプリケーションを構築する実証実験が行われています。

この実証実験は、慶應義塾大学のキャンパスと周辺施設で実施。日吉キャンパスにマルチホップ・ネットワークを敷設し、日吉キャンパスの周辺施設の間の数kmをLPWA技術で結び、日吉キャンパスに敷設したネットワークの各ノードには環境センサーを取り付けます。これらのセンサーから取得されるセンシングデータを日吉キャンパスに設置されたエッジサーバーに一度集約。その後、コアサーバーにLPWA技術を通じて無線伝送する仕組みです。



益田市でのMCSCCのプロジェクト実施に当たっても、この慶應義塾大学とともに取り組んだ実証実験の結果を活用して個別の取組の具体化を図っています。その意味で、慶應義塾大学との共同研究が我々MCSCCの原点であると言っても過言ではありません。

東京大学

2020年2月14日、MCSCC豊崎専務理事(当時。現代表理事)が東京大学主催の電子情報通信学会で基調講演を行っています。



岡山大学医学部・島根大学医学部

MCSCCとしてオムロン株式会社とともに構想し、個人情報管理のため別社団(一般社団法人益田ヘルスケア推進協会)を立ち上げて行われているのが「益田市スマート・ヘルスケア推進事業」。益田市・岡山大学・島根大学・オムロンヘルスケア株式会社・益田ヘルスケア推進協会の協働的な健康増進プロジェクトです。益田市医師会等と連携しながら、高血圧の防止等を通じて市民の健康を支えています。

近畿大学

MCSCC岩前篤顧問(スマートハウス)が学部長である近畿大学建築学部・大学院総合理工学研究科は学会員として参加しています。

茨城大学

MCSCC桑原祐史顧問が茨城大学地球・地域環境共創機構GLEC(グレック)副機構長です。

国立研究開発法人情報通信研究機構

情報通信分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関である国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)がMCSCCの学会員となっています。